

No.021 (不定期刊行)

"Great Wall" Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

海闊天空(遙かなる夢に)

中国各地で「掃黒除恶」というスローガンをよく見かける。日本語に訳せば「黒社会(暴力団)を一掃し、悪事(人)をつまみ出せ」とでもなるだろうか。これは、2018年1月の中国共産党と中国政府による通知を受けたキャンペーン運動。「黒」「悪」は具体的に何を指すのだろうか。街角にあったイラスト入り解説によると、筆頭格は「政治の安全、特に政権の安全と制度の安全を脅かす、政治領域に浸透する黒悪勢力」となっている。

★ ★ ★ ★ ★

6月9日に香港で「返還後最大」とされるデモが行われた。香港で身柄を拘束した容疑者を中国本土へ移送できるようにする「逃亡犯条例」改正への反対を訴えたもの。「一国二制度」の下で香港に認められてきた法的な独立性が損なわれかねない、非常に危険で深刻な条例改正だ。デモ主催者によると参加者は103万人(警察発表は24万人)。香港市民の7人に1人が参加した計算である。

香港でデモや集会が行われるとき、必ずと言っていいほど歌われる定番の歌がある。「海闊天空」――。

「香港にバンドはない。ただBEYONDがあるのみ」とまで言われた伝説のグループ、BEYONDによる1993年の楽曲だ。歌詞には、常に自由を求めたリーダーの黄家駒(ウォン・カーキイ)の魂が表れている。

「数えきれないほど冷たい視線と嘲笑を受けてきた／それでも決してこの胸の理想は捨てなかった」「希望を捨てるのは誰にでもできる／今はたとえ君と二人きりになる日が来たとしてももう怖くはない」



街は「掃黒除恶」のスローガンであふれる

14年の「雨傘革命」でもこの歌が一種のテーマソングとして用いられた。豪雨に打たれながら合唱する若者たち。その姿を見て心を奪われない者はいないだろう。

思えば、歌はデモ参加者の叫びや社会の嘆きを代弁してきた。中国ロックの父と言われる崔健の「一無所有」(俺には何もない)は、89年の天安門事件の際に民主化を要求した学生たちの愛唱歌となった。同事件直前に香港で行われた民主化支援集会で、「アジアの歌姫」テレサ・テンは「我的家在山的那一邊」(私の家は山の向こう)を熱唱した。

14年に台湾の立法院占拠から始まった「ひまわり学生運動」では、「島嶼天光」(島々の夜明け)が広く歌われた。「空が次第に明ける／私たちは大きな声で歌い続けよう／希望の光がこの島々の全ての一人を明るく照らすまで」と情動的な歌詞が胸を打つ。

★ ★ ★ ★ ★

今回の香港デモの翌日、6月10日はBEYONDの黄家駒の誕生日。生きていれば57歳を迎えていた。彼は93年に日本で命を落としたが、6月30日は命日にあたる。香港ではBEYONDや「海闊天空」が注目されやすい時期でもある。

彼の誕生日の10日昼。中国のテレビでNHKの海外向け国際放送をつけてみた。正午のニュースの冒頭で伝えられたのは香港の大規模デモ。ところが2秒と経たないうちに画面が突然真っ暗になった。検閲という名の“ブラックアウト”。何か都合の悪いことがあったのだろうか。黒い画面を見て改めて思ってしまう。

街に出ると相変わらず「掃黒」のスローガンが至る所で掲げられている。「黒」の意味は深い。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入

外国証券等について

・外国証券は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

① 国内株式の手数料等およびリスクについて

・国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2420%（税込み）、最低3,240円（税込み）（売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額）の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 外国株式等の手数料およびリスクについて

・外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8640%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い仕切価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い仕切価格との差がそれぞれ原則として2.75%（手数料相当額）となるように設定したものです。当該仕切価格には手数料相当額が含まれています。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象としたEB等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。

東洋証券（株）および同関連会社、またその役職員はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

なお、東洋証券（株）および同関連会社の役職員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

東洋証券株式会社

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年6月11日
 審査部審査済